

外国人にとって日本人のイメージは、同じ性格でも良い面で捉えたり悪い方向で捉えられたりしていて驚きました。私も典型的な日本人で、英語を話す際には文法を間違えないようにと何度も確認し、それでも不安で積極的に自信をもって話すことができないので、講義を聞いて、日本人らしさを残しつつも自ら発信する姿勢を身につけなければいけないと思いました。

また、私の通っている高校はSSH指定校で、グローバル人材の育成に力を入れているので、グローバル人材が減少傾向にあるという問題は無視できないと思いました。グローバル化が進んでアニメも外国に広まっている中、共通の話題をもてることで、外国にもなじみやすくなると思うので、グローバル的に活躍することも難しくなる、下と思います。だから、私も視野を広げて世界を見てみたいと思いました。

これから私も日本を誇りに思い、愛国心をもって生活していきます。そして世界から見た日本人らしさを裏返しをどうかえっていきたくです。

私は、このスピーチを聞いて、日本人の特徴について良い面も悪い面についても、よく知ることができました。海外に遠人と呼ばれる歴史の先駆者が多い理由もそこにある気がします。

私は、このプレゼンにおいて上げられた日本人らしさの、マイナスな面を含んでいるので、多面的に自分を見ることができませんでした。KYと呼ばれることを恐れている、自分の意見を発することはおろか、いっしょに考えることをしなくなっていた自分がいることに気付かされました。

グローバル社会において、自分を出していく、表現していくことは、自分の人間性を磨く事になるので、今後の自分に生かせるように努力していくつもりです。フランス人の、「異論の無い会議は意味が無い」という考え方は、正にそのとおりだと思います。他人の良いような感じの意見に、なんとなく賛同しているだけでは、何の成長もないので、逆に他にどのような案があるかなど、自発的に何かを考えるかというのは、人間社会において、重要なものだと感じました。

自分は内向的なので、自分の考えをしっかりと持て、自己主張を、かといけるような人間になれるよう日々努力を欠かさないようにはします。

湯沢先生の講演を聞いて、客観的に見た日本人は
外国人にどう映っているのかを知らない機会に恵まれた。

その中で、私が最も興味深かったのは、日本人と欧米人の
文化の違いです。一番驚いたのは、欧米人は子供の
頃、親に他人と違うことをいせいと教えられて育つこと
です。日本では、自分よりも他人を優先するのが良いこと
とされているため、思いやりが大切だと教えられて育ちます。

このことから、日本人は自分の意見などを人に伝える
のが苦手としている人が多いんだとわかりました。

また、講演の後半に先生が紹介して下さった4つの
本も大変興味深いものがありましたので、ぜひ一度
読んでみたいと思いました。